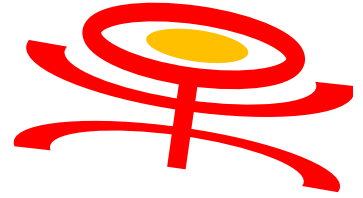




# たましろの郷より

たましろの様子や今後の予定をお伝えするページです。



## ☆施設からの報告

### ＜はじめに＞

◆本来 4 月 1 日から、廃案となった障害者自立支援法が、名称を『総合支援法』と替えてスタートしました。私たち障害者の代表がみんなで話し合い、新しい「総合福祉法」の創設めざしてまとめた“骨格提言”とは程遠い内容ですが、ここは「障害者差別禁止法」の確立も含めた新たな運動の取り組み課題が見えてきた。と受け止めたいと思います。

◆もう一つの“本年は…”ですが、施設創設が法的には 2001 年度となっています。実質的には 2002 年開設で 10 年が経過し、創設 11 年目を迎えることとなります。ここでは会員の皆さまへの深い感謝の意を込めて、この一年間を総括し、その課題を見つめ、新年度事業への新たな取り組みとともに、都内 3,000 人といわれる全ての“ろう重複者”対策も含めた展望を報告させていただきます。

### ＜施設経営助成金？＞

本題に入る前に、一部会員から提起された問題、「施設は行政の責務で経営が本筋。なぜ我々が不足額 1,000 万円を毎年寄付するのか疑問！」について、その経過を報告させていただきます。

- 1) 施設は、多くの皆さまのご支援、ご寄付等によって経営が成り立っているのも事実です。
- 2) しかし、後援会の「法人助成金」1,000 万円は、施設の経営に対する助成とは少し異なります。

施設建設資金総額(含不動産)		1,000,000,000円	不動産購入費を含む
内	国庫+東京都補助金	450,000,000円	
	自己資金	350,000,000円	講演会などによる募金
	法人事業国庫借入金(※)	200,000,000円	返済=年1,000万円×20年
訳	合計	1,000,000,000円	

- 3) この借入金 2 億円は設置体である法人の負担。施設経費からの返済は認められませんでした。
- 4) これに伴って、後援会が「会員 3,000 人×3,000 円=900 万円/年」を目標に掲げたのでした。

### ＜施設の現勢＞ (詳細は法人本部『事業報告書(12年)・計画書(13年)版に譲る)

1. 施設は、昨年 4 月から旧自立支援法に定める「新事業」態勢に移行しました。

旧制度	種別	人数	生活状況	⇒	新制度	種別	人数	生活状況
障害者施設	入所	20人	施設入所⇒日中作業		居住支援	施設入所	30人	16:00~09:00
	通所	30人	自宅通所⇒日中作業		日中支援	生活介護	50人	09:00~15:30
短期入所	宿泊	5床	ショートステイ事業		短期入所		5床	

※「旧法」＝「入所」者 30 人は日中も継続して作業所。「通所」者 20 人は日中の作業所に通所。

※「新法」＝「入所」は単独事業となり、日中は各種の「支援事業」等に通所する。

施設の「日中支援」は「生活介護」に一本化し、通所者 20 人+入所 30 人=50 人。

2. 利用者の平均年齢は 39.9 才となっている。(20 才男~78 才女。入所者平均年齢は 42.7 才)
3. 日中支援の「生活介護」利用者 50 人に対しては、大きく分けて 3 グループ制を敷いている。

達成目標別構成	構成員	就労内容	作業収入	平均工賃
就労自立支援班	5人	自治体・学校・企業契約による清掃業務	870万	27,000円
作業自立支援班	12人	清掃、製菓、育苗他、自主製品の作成	250万	12,500円
生活自立支援班	32人	生活・健康レクと発送・ウェア等作業参加	200万	4,200円

4. 職員は施設長・総務 7・給食 7・医務 4・支援員 25+短期登録支援員 13 人=総計 57 人。
5. この内、正規職員は施設長・総務 2・看護師・支援員 10 の 14 人で、約 25%となる。

## ☆学童クラブ“かたつむり”法人事業化

創設26年目となる「ろう重複児学童クラブ“かたつむり”」が、4月1日付けにて児童福祉法に定める「放課後等デイサービス事業(障害児通所支援)」(事業所番号1353100108)として認可され、“たましろの郷”“手話通訳等派遣センター”と同様に法人の新事業体としてスタートしました。事業内容については追って報告します。

住所 国分寺市日吉町 4-29-12

名称 学童クラブ“かたつむり”

電話 042-401-0380(Tel・Fax兼)

## ☆たましろの郷 清掃作業報告

3月28日に食堂等清掃業務をさせていただいている青梅市武州工業様の新工場(サテライト)が落成し、4月1日からは新・旧両工場の清掃を請け負うことになったため、朝から一日作業に取り組んでいます。作業人数も増え、作業負担の軽減をめざし、これまでは普通の水モップでしたが新工場はマイクロファイバーを使用した平型モップに変更し、工場内でモップ絞りを止めて、汚れたら新しい替えモップに交換しながら作業をするなど、いろいろなことにチャレンジしました。なかまたちは始めこそ新しい方法に少し戸惑いましたが、みんな清掃業務のプロ集団。すぐに覚えてしまい「きれいで広い工場だから、ゆっくり丁寧に掃除しよう」などと話し合い、作業が終わると「きれいにできた」と喜んでいきます。これからもなかまと一緒に「丁寧にきれいな清掃」を心掛けて行きたいと思えます。

## ☆たましろの郷レクリエーションボーリング大会

3月23日(土曜日)レクリエーション活動の一環で「ボーリング大会」を開催しました。ボールを投げ、目の前のピンを倒す!! 単純かつ繊細なこのスポーツは、なかまには受け入れやすく、みんな大盛り上が最高得点はなんと・・・「136点」!! そして2位は130点でしかも今回が初めてのボーリングだったとの事で驚きました。ご協力いただいたボランティアの方々、そして会場の西東京レーン様には、大会という事で景品を準備して頂きました。皆様のご協力もあり、普段あまり見受けられない最高の笑顔がそこにはあり、本当に楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

## ☆アダプテッドスポーツ大会に参加しました。

3月20日(祝)、8名のなかまと一緒に、青梅総合体育館で行われたアダプテッドスポーツ大会に参加しました。アダプテッドスポーツとは、障害がある人もない人も取り組めるよう工夫された内容の運動のことだそうです。東京都多摩障害者スポーツセンターの指導員の方について頂き、体験しました。なかまが一番盛り上がったのが、ドッチビーという柔らかいフリスビーのようなもの。投げたい方向に体を向けて、胸からまっすぐに投げて・・・と、意外とコツも多く難しかったのですが、だんだん上達し上手く投げられるようになり、

みんなで大変盛り上がりました。  
いつもの体育館レクとは違い、ダイナミックで新鮮なものでした。

### ☆椎茸がとれました。

話しはガラッと変わりますが、たましろでは椎茸がとれるのです。  
2年前に原木にコマ打ちして栽培している椎茸は、新鮮なうちに袋に詰めて販売しています。  
職員だけでなく、見学に来られた方、ボランティアの方も購入できるのです。  
たましろにいらした際は、是非職員に声をおかけ下さい。



### ☆愛は地球を救う

長い間、国分寺での清掃時に使用していたキャラバンがたましろにやって来まし  
— 24時間テレビ、「愛は地球を救う」より贈呈 —  
他の施設のホームページに掲載されているのを見たことはありましたが、  
実際に見るのは初めてです。  
古い車ですが現役です！現在は、たましろと国分寺近辺の移動に使用しています  
運転中に周りの視線が気になったり、少し恥ずかしい気分になる時もありますが、  
見かけた際は是非声をお掛け下さい！！



### ☆その他 最近のたましろ

4月21日、雨の中、たましろ郷の大イベントの一つ、「もちつき集会」が開催されまし  
「もちつき集会」始まって以来の悪天候にも関わらず、大勢のボランティアに支えら  
何とか無事に終えることができました。  
ご来場されたお客様の中には、外で開催される熱気あふれる臨場感を体感できず  
初めての屋内開催に驚かれた方もいやらっしゃるのではないのでしょうか。  
来年度も今回の事を教訓にし、天候に関わらず大イベントの一つとして、  
皆様に楽しんでいただけるよう利用者、職員一同頑張りますので、  
今後もよろしくお願いいたします。

### ☆ボランティア募集

たましろの郷では、日中活動に協力して下さるボランティアさんを、随時募集  
しています。手話など、特別な技術はなくても参加できます。  
作業や余暇など、一緒にいて頂くだけでも大歓迎です。

## ○日中活動ボランティア

たましろでは、委託清掃、製菓(クッキー)の他に、軽作業、レクリエーション等の活動に取り組んでいます。手話や特別な技術よりも、一緒に過ごして楽しんでもらえるボランティアさんを、いつでも受け入れています。

### 施設内の主な活動

	月	火	水	木
午前	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業
午後	軽作業 レク	軽作業 レク	軽作業 レク	軽作業 レク

※毎日午後はレクを行っています。

レクの内容は、スポーツ、ドライブ、調理、ビデオ鑑賞、生活支援などです。

※平日は、送迎バスを利用できます。事前にお問い合わせください。

## ○休日余暇活動ボランティア

施設のなかま、職員と集団で一緒に過ごします。

職員と一緒におりますので、ご都合に合わせて気軽に遊びに来て下さい。

余暇の活動内容は、ボランティア情報をご覧ください。